

## 2024年度(第2回)関東高等学校選抜柔道大会 要項

1. 主催 関東柔道連合会 (公財)東京都柔道連盟 関東高等学校体育連盟
2. 共催 横須賀地区柔道協会
3. 主管 関東高等学校体育連盟柔道専門部 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部 神奈川県柔道連盟
4. 名称 第2回関東高等学校選抜柔道大会
5. 期間 令和6年11月 8日(金)～11月10日(日)  
11月 8日(金) 10:00 前日練習・計量・監督会議・開会式  
11月 9日(土) 9:00 男女個人試合 7階級 (ベスト8決定まで)  
11月10日(日) 9:00 男女個人試合 7階級(準々決勝以降)/表彰式 閉会式
6. 会場 横須賀アリーナ メインアリーナ 〒238-0051 横須賀市不入斗町 1-2
7. 競技規則・競技方法
  - (1)最新の国際柔道連盟試合審判規程ならびに(公財)全国高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項によって行う。
  - (2)優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2つ)以上とする。試合終了時に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
  - (3)試合時間は4分間とする。但し、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
  - (4)試合は、トーナメント戦とする。※「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦において、勝敗を決する。延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。このことは、1回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。
8. 引率・監督
  - (1)引率責任者は校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は各都県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
  - (2)監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規程に従うことを原則とする。
9. 参加資格
  - (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒である。但し、休学中、留学中の生徒を除く。また同一校からの出場は各階級2名までとする。
  - (2)選手は、各都県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、柔道専門部に登録し、当該競技実施要項により参加資格を得た者に限る。
  - (3)2024(令和6)年度、各都県柔道連盟(協会)を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了した者とする。
  - (4)年齢は、2006(平成18)年4月2日以降に生まれた者で、令和6年4月2日現在、18歳未満であり、在籍学年が1学年または2学年の者とする。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、柔道専門部が責任を持って調整・確認する)。

- (5) 転校・転籍後6か月未満の者は、参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- (6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例
- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒については、別に定める規程に従い大会参加を認める。
- イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回までとする。
- (8) 外国人留学生については、卒業を目的とし入学していること(短期留学は認めない)。
- (9) 脳しんとうの対応について、選手及び指導者は、次の事項を遵守すること。
- ア 大会前1か月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、医師から出場の許可を得ること。
- イ 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、前の者は、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
- ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、医師から出場の許可を得ること。
- エ 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (10) 皮膚真菌症(トングランス感染症)の対応については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

#### 【大会参加資格の別途に定める規定】

- 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ア 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修業年限とも高等学校と一致していること。
    - ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際して守るべき条件
    - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

## 10. 参加制限

### (1) 男子個人試合

ア 各都県の編成は、代表監督1名(原則として各校の引率者から選出)、選手28名(各階級4名ずつ)とする。

イ 開催地は選手35名(各階級5名ずつ)とする。

ウ 体重別区分は次の7階級とする。

[60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級]

エ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

### (2) 女子個人試合

ア 各都県の編成は、代表監督1名(原則として各校の引率者から選出)、選手21名(各階級3名ずつ)とする。

イ 開催地は選手28名(各階級4名ずつ)とする。

ウ 体重別区分は次の7階級とする。

[48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級]

エ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

11. 表彰 各階級上位4選手に賞状ならびにメダルを授与する。

## 12. 組み合わせ会議

(1) 期日 2024年10月26日(土) 13時00分～ (Web会議)

(2) 抽選 関東高等学校体育連盟柔道専門部の責任抽選により組合せを決定する。

## 13. 参加料・協力金

1名5000円(参加料3000円・協力金2000円)を10月11日(金)までに下記口座へ振り込むこと。

指定銀行	横浜銀行・相模大野支店(店番号414)
口座番号	普通 6176487
口座名	関東高等学校柔道大会 会計 栃本章太

## 14. 参加申込

大会参加に際して提供される個人情報とは本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

### (1) 申込方法

ア 出場校 大会ホームページから「参加申込書」をダウンロードし必要事項を記入し、学校長印の押印したものを2部作成の上、各都道府県高体連柔道専門部に参加料を添えて提出する。

イ 各都県高等学校体育連盟柔道専門部

(ア) 「都県報告書」を大会ホームページよりダウンロードし必要事項を記入し、各都県高等学校体育連盟柔道専門部印の押印したものを2部作成する。また作成した「都県報告書」のデータは10月11日(金)の17:00までに(2)申込先のメールアドレスへ送信するかデータの入った記録メディアを(2)申込先へ送付する。

(イ) 各出場校から提出された「参加申込書・出場校用」をとりまとめる。

(ウ) 「都県報告書」及び「参加申込書・出場校用」各1部ずつを(2)の申込先へ簡易書留郵便で送付する。なお、その際に参加料の銀行振込通知等(コピー)を同封すること。

ウ 電子データの送信の際は、各学校等における個人情報の電子メール送信に係わる取り決め等を遵守すること。もし、電子メールによる送信が不可能である場合は、記録メディア(CD-R等)に保存して(2)のイの申込先へ送付すること(記録メディアについては、各都県高等学校体育連盟柔道専門部及び参加校で用意すること)。

エ 参加申込書の作成に当たっては、(3)に示すホームページから参加申込作成の手引きが閲覧・ダウンロードできるので、それもあわせて参考とすること。

(2) 申込先

〒230-0031 神奈川県横浜市鶴見区平安町2-28-8  
神奈川県立鶴見総合高等学校内  
神奈川県高体連柔道専門部事務局 栃本 章太  
電話番号：045-506-1234  
メール：tochimoto-4nk@pen-kanagawa.ed.jp

(3) 大会ホームページ

<https://senbatsu.kantohs-judo.jp/>

(4) 申込期限

10月16日(水)郵送必着

15. 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者(選手・監督)は、健康保険証を持参すること。
- (2) 日本スポーツ振興センター災害共済給付金の申請書の準備等については、各学校及び引率責任者において行うこと。
- (3) 選手の変更について  
ア 申込参加者に変更が生じた場合は、所定の証明書(在学する校長及び各都県高等学校体育連盟会長の出場認知書)を添えたものに限り、11月1日(金)までは大会実行委員会事務局へ(郵送必着)、それ以降については11月8日(金)の11:30~12:00の時間内にメインアリーナ本部へ届け出ること。
- (4) 無届けで棄権した場合は、当該都道府県の翌年の出場は認めない。
- (5) 申込不備による問い合わせの諸経費は、当該都道府県の負担とする。
- (6) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対し責任を負うものとする。
- (7) 監督は審判員を兼ねることはできない。
- (8) 選手はゼッケンを縫い付けた柔道衣、帯を着用すること(2017年4月 IJF 新規定)
- (9) 今大会、指定の駐車場はありません。横須賀アリーナ付近の駐停車は付近の施設や通行者に多大な迷惑がかかるため、おやめ下さい。電車や徒歩等での来場をお願いいたします。
- (10) 大会事務局での宿泊・昼食弁当の斡旋はありません。参加各校で手配をしてください。また以下の業者は今大会について対応していただけます。

京王観光株式会社 神奈川北支店  
〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台1-3-12パロス竹内3F  
電話番号042-786-6155 FAX042-786-6156

東武トップツアーズ株式会社  
〒220-0004 横浜市西区北幸2-8-29東部横浜第3ビル5F  
電話番号050-9001-8768 FAX045-326-1122

## 16. その他・主な日程

- (1) 11月 7日(木) 審判会議 18:00～19:00 WEB 会議
- (2) 11月 8日(金) 10:00～12:00 前日練習  
13:00～14:00 委員長会議  
13:00～13:30 仮計量  
13:30～14:00 本計量  
14:00～14:30 監督会議  
15:00～15:30 開会式
- (3) 11月 9日(土) 8:00～ 選手・監督入場  
8:00～ 8:50 アップ メインアリーナ/サブアリーナ  
9:00～ 個人試合(ベスト8決定まで)
- (4) 11月10日(日) 8:00～ 選手・監督入場  
8:00～ 8:50 アップ メインアリーナ/第一体育室  
9:00～ 個人試合(準々決勝以降)  
※試合終了後表彰式・閉会式  
※閉会式の参加は入賞者のみ

## 17. 公式計量

- (1) 11月 8日(金)の13:00～13:30を仮計量時間とし、13:30～14:00に公式計量(1回のみ)の本計量を行う。
- (2) 計量にパスしない者は出場できない。
- (3) 計量場所は、男子は第一体育室(3階柔道場)、女子は第2ミーティングルーム(サブアリーナ3階)とする。

## 18. 諸会議

会議名	期日	時間	会場
審判会議	11月 7日(木)	18:00～	Web 会議
委員長会議	11月 8日(金)	13:00～14:00	本部室(メインアリーナ横)
監督会議	11月 8日(金)	14:00～14:30	第一体育室(3階柔道場)

## 19. 大会実行委員会事務局及び連絡先

事務局長 栃本 章太(神奈川県立鶴見総合高等学校)

〒230-0031 神奈川県横浜市鶴見区平安町2-28-8

電話番号: 045-506-1234 メール: tochimoto-4nk@open-kanagawa.ed.jp